

4-4. ノイホルム協会の義務

「レホルムハウス」は、「レホルム運動」の啓蒙と「レホルム製品」の普及に約110年にわたり「健康生活づくり」の拠点としての役割を果たしてきました。そのため、環境保持と動物保護は、「ノイホルム品質規準」に示されています。具体的には次にあげる内容です。

健康な動物を原料として使用する

食品衛生上、または倫理的な理由から、死んだ動物を原料として使用することは禁止されています。そのため、食品では肉やソーセージの加工製品に死んだ動物の原料は使用できません。また、化粧品では、生きた細胞のエキス、胎盤エキスなどの原料は使用できません。ただし、自然薬品に限り、安全性が学術的に保証されている原料は、例外的に認められます。つまり、ミドリイガイのエキスや肝油などは、伝統的に薬品として使われてきました。今日、レホルム自然薬品に使用されているカプセルの原料のゼラチンは、豚由来が主流でしたが徐々に植物由来のものに代替されつつあります。

適正な動物飼育法を用いる

ミルク、乳製品、卵などの動物性の製品は適正な動物飼育法によるものを使用しており、またこの飼育法は、この分野で権威のある団体AGOLの規準、及びEU有機農業法の規準にもとづいています。動物は十分な日光を浴び、広い牧場で飼育され、農場で栽培された牧草などで飼育されています。動物の肉骨粉、抗生物質、成長促進剤などが添加された飼料を与えることは厳重に禁止されています。

動物実験は行わない

レホルムの化粧品、ボディーケア製品の原料成分を動物実験などで試験することは禁止されています。これは製造者から依頼された試験研究所でも同様です。

環境を考えた製造法と加工法

製造と加工に用いる原料は、環境を破壊しない有機農産物を使用しています。有機農法は鉱物から合成された窒素・リン酸・カリウムや農薬(殺虫剤、除草剤など)を使用しないため、土壌中の水質や地下水の汚染を防ぎます。堆肥を施した農耕と、作物の輪作が守られているため、土壌はつねに膨軟で、雨水等に侵食されるのを防ぎます。製造者の側でも有効資源をリサイクルした加工法に努めています。

包装は必要最小限度に

一般的に必要な最小限の包装は不可欠です。包装は製品の品質保持に役立ち、製品の衛生面と使用に際しての安全性を確保します。それにより、輸送と貯蔵が可能になります。しかし、過剰な包装は、環境汚染の原因となるゴミを放出します。製品の安全性と生活環境の保持が「レホルム製品」の重要な課題です。「ノイホルム協会」の指針では、必要最小限度の包装で済ませることで